

## 令和3年度 第4次広島市食育推進計画に係る主な取組（本市関係分）

## 1 わ食の日事業

## (1) 「わ食の日」の普及啓発

広島市広報紙「ひろしま市民と市政」令和3年10月15日号の1面に、自宅で簡単に作れる栄養バランスのとれたレシピの紹介や3つの「わ食」の啓発記事を掲載した。

また、広島市公式LINEや Twitter、Facebook に「わ食の日」に合わせ、記事を投稿した。



## (2) 保育園等給食における「わ食の日」の啓発

市立保育園等において、毎月19日の給食を「ごはん・魚料理・汁物」の献立にし、「食育の日」と「日本型食生活」について意識づけを行った。

## (3) 学校給食における「わ食の日」の啓発

毎月19日の「わ食の日」には、学校給食を一汁二菜等の和食の献立とし、児童生徒に給食放送や給食指導資料で、日本型食生活のよさ等の啓発を行った。



## (4) 食品ロス削減キャンペーン「スマイル！ひろしま」の実施

令和元年10月に施行された「食品ロスの削減の推進に関する法律」において定められた10月の「食品ロス削減月間」に合わせ、食品ロスの削減についてポスター等の掲示により啓発を行った。

また、公民館でエコクッキング教室等を実施したほか、市内高校や大学と連携し、生徒や学生考案の新たなエコクッキングレシピを作成し、学生主体のエコクッキング教室を開催した。さらに、レシピの紹介動画の作成も行った。

## 2 自然に健康になれる食環境づくり事業

## (1) 元気じゃけんひろしま 21 協賛店・団体の啓発

ホームページやチラシにより、「元気じゃけんひろしま21協賛店・団体」の募集を行い、認定された協賛店・団体はホームページに掲載するとともに、啓発ステッカー等を配布し、市民に周知を図った。

また、民間ラジオ局及び全国健康保険協会広島支部と共催実施している「働く世代の健康」をテーマとしたラジオキャンペーンの中で、「元気じゃけん定食」の紹介とあわせ、協賛店・団体に関する紹介を行った。



## 3 食を通じてみんなで育てよう ひろしまっ子事業

## (1) 図書の展示、おはなし会の開催

図書館において、食に関する図書・絵本の展示を行った。

## (2) 家庭教育学級の開催

公民館において、親子での季節にあわせたお弁当やおやつづくり、エコクッキング等を実施した。

## (3) 保護者啓発リーフレットの作成

栄養バランスのよい食事や望ましい食習慣、食品ロスなど小学1年生から中学3年生まで各学年に応じた内容の食育リーフレットを作成し、これを活用した食育の指導を各学校で実施した。また、同リーフレットに保護者向けの内容も掲載し、家庭への啓発を行った。

## (4) 「早寝早起き元気なあいさつ朝ごはん」運動の実施

- ・生活リズムカレンダーの実施
- ・保護者向けリーフレットの配付

## 4 若者世代のための食育啓発事業

### (1) 若者世代のための食育教室等の開催

食育への関心が低く、健全な食生活の実践度が低調である若者に対し、適正な量と質の食事について学び、実践できる技術の習得を目的に、各区保健センターにおいて、大学や専門学校と連携した講座、健康展等を実施(5回、614人)するとともに、乳幼児や小学生の保護者対象の食育講座等の中で、保護者自身の食生活に関する情報提供を実施(10回、126人)した。

### (2) 令和3年・令和4年成人祭における健康づくりの普及啓発

朝食摂取や健康づくりに関するリーフレットを作成(6,000部)し、若者が多く集まる成人祭において配布予定だったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、オンライン実施(R3)及び延期(R4)となり、配布できなかった。



## 5 噛ミン<sup>カ</sup>グ<sup>サンマル</sup>30運動の推進

### (1) 保育園等給食における「噛むこと」の啓発

市立保育園等において、月2回おやつに「いりこ」を提供し、「噛むこと」の意識づけを図った。

### (2) 区保健センターでの噛ミン<sup>カ</sup>グ<sup>サンマル</sup>30運動の推進

各区保健センターが行う乳幼児健診や育児教室等の歯科保健事業の中で、パンフレットの配布等により、よく噛んで食べることの大切さについて啓発した。

## 6 食と農と水産の体験活動推進事業

### (1) 食農推進事業

食を支える地域農業の重要性について理解を深めるため、食農体験や小学校での食農に関する授業の支援等を実施した。また、食農体験を企画・運営する市民ボランティアである広島市食農コーディネーターの育成及び活動支援を行った。

### (2) 水産業の体験学習会

市民の水産業への理解の促進を図るため、小学校を対象とした種苗(魚の赤ちゃん)の放流体験等や、小学3~6年生とその保護者を対象とした、プランクトンの観察、カキ養殖等についての学習会を実施した。

## 7 つなぐ・つながる地産地消推進事業

### (1) 「ひろしま産 day」ひろしま地産地消の日の制定

地産地消の大切さを広く周知することによって市民の理解をより一層促進するため、「ひろしま産 day」をキャッチフレーズに毎月第3日曜日を「ひろしま地産地消の日」を制定した。



### (2) 広島市内で生産される農林水産物である“ひろしまそだち”のPR

「ひろしま地産地消の日」を中心に“ひろしまそだち”地産地消ツアー等の実施やSNS等を活用した“ひろしまそだち”地産地消協力店等が考案したレシピの紹介、スーパー等における商品PR用POPの掲示により、“ひろしまそだち”のPRを実施した。

### (3) 広島湾七大海の幸PR事業の実施

地場産水産物をPRするため、広島湾周辺市町、市中央卸売市場関係者及び漁業者等で構成する「広島湾七大海の幸」普及推進実行委員会において、「こども食堂を通じた魚食普及事業」や「広島湾七大海の幸ポスターコンクール」等を開催するとともに、広島県を中心に展開する量販店の協力の下、「広島湾七大海の幸レシピグランプリ」で優勝したレシピの商品化を行った。



### (4) 学校給食における地場産物の活用促進

農政課・区農林課と連携し、たまねぎ、きゅうり、パセリなどの“ひろしまそだち”を学校給食で使用する新たな取組を行った。

また、それらの食材を使用する日には、生産者の写真を掲載した資料を各学校に配付し、児童生徒への食育の指導に活用した。